

社協だより

2012
12月発行
VOL.26

社協だより
まんのう

2012年12月発行 第26号



笑顔で楽しく!

寄せ植えづくりに初挑戦

～吉井しあわせサロン(11ページ)～

元気ふれあい
ほっと安心

地域で共にいきる まちづくり

共同募金受配事業

善意の寄付

地域福祉に活用させていただきます。
ありがとうございました。

平成24年9月1日から平成24年11月30日

個人

長尾 大林 誠二	炭所東 小林 文男
川東 高尾 幸男	四条 長峰 勝
吉野 吉井 忠	中通 森 正幸
仲空 三好 博文	新目 上村 安治

敬称略・順不同

イラスト:山本恭子さん



寄附金の税額控除について

本会への寄附金は所得税及び住民税の控除対象になっています。
寄附金控除の適用を受けるには、寄附の際に交付した領収書を添付して確定申告を行って下さい。

第7回 まんのう健康・福祉まつり 開催のお知らせ



日時 平成25年3月20日(水) 春分の日
場所 まんのう町満濃農村環境改善センター
内容 ・介護事業所紹介 ・健康コーナー
 (予定) ・子育て、遊びコーナー ・バザー 他

詳細は後日チラシ等でお知らせします。
大勢の皆様のご参加をお待ちしております。



実行団体 申込メ切
募集中 平成25年1月11日(金)

一日福祉 支え合い! 募集

10月28日(日)、国営讃岐まんのう公園にて「第6回まんのう町かりんまつり」が開催され、ボランティアさんの協力により一日福祉事業を行いました。

今回も昨年と同様、地域の人々が協力し、ハンディキャップのある方々を対象に、リフト車の送迎をしました。
町社協では、ひとりりで外出することが困難な方や、家に閉じこもりがちの方が、「福祉まつり」に安全に楽しく参加していただくことを目的に「一日福祉事業」を実施します。この事業は介助を必要とされる人へのボランティアによる援助や車椅子の無料貸し出しを行います。又、町社協のリフト車での送迎も行います。



たくさんの方のご参加をお待ちしております。あなたも地域のハンディキャップのある方をお誘いして参加されませんか?

日時 平成25年3月20日(水)
10:00~14:00
場所 まんのう町満濃農村環境改善センター
申込締切日 平成25年2月15日(金)

ふれあいネットワーク 社会福祉法人 まんのう町社会福祉協議会

〒769-0313 香川県仲多度郡まんのう町生間415番地1(役場仲南支所内)
☎ 0877-77-2991 FAX 0877-77-2992 E-mail:manno-syakyo@mg.pikara.ne.jp

ホームページ:<http://www.manno-syakyo.jp/>

まんのう町社会福祉大会

町内の福祉関係者が集い、第7回まんのう町社会福祉大会が行われました。この大会は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、毎年行っています。式典では、永年にわたり社会福祉の発展に尽力されている方々の顕彰が行われました。また、今年度より応募を行ったまんのう町の絆フォトコンテストで入賞された方の表彰も行われました。

記念講演では、「阪神大震災から以後、私が見た思いやりの心と福祉の町づくり」と題して矢崎由美子様による講演が行われました。

最後に大会宣言が採択され、来場していただいたみなさんと地域福祉に取り組み決意を新たにしました。



矢崎 由美子 様

社協会長表彰者 (順不同敬称略)

民生委員表彰

- 大鹿 千重子
- 奈良 恵美子
- 山本 初子
- 今田 義則
- 新名 節子
- 大北 るり子
- 白川 京子

社会福祉団体職員表彰

- 本多 町子
- 平尾 正乃

社会福祉事業のボランティア表彰

- 秋山 繁子
- 末久 廣子
- 神余 ユキエ

在宅介護者表彰

- 岡坂 博明



謝辞 今田 義則 様

大会宣言

近年、社会を取り巻く環境は急速な変化をみせており、少子高齢化の進行、家族形態の変化、長引く景気の低迷を背景に、孤立死や生活困窮者の増加等、現行の福祉の仕組みだけでは対応しきれない生活課題が増大しています。

このような状況の中、誰もが住みなれた地域で、その人らしく安心して暮らしていくためには、あらためて地域の中での人と人の絆について考え、住民一人ひとりが地域の一員として支え合いを再構築することが求められます。

このようなときにあたり、地域福祉関係者は行政や専門職、関係諸機関と層の連携を深め「元氣 ふれあい ほっと安心 地域でともに生きるまちづくり」に向けて、それぞれの立場で次の事項に取り組むことをここに宣言します。

○ 見守り、声かけにより、地域の絆を育みます。

○ お互いのつながりや支え合いにより、安心できる居場所づくりを進めます。

○ 与えられた命に感謝し、一人ひとりのところに寄り添い、ともに生きるまちづくりを推進します。

平成二十四年十二月八日

第7回まんのう町社会福祉大会

平成24年度

こころの絆 フォトコンテスト

入選作品紹介

地域のみなさんが、人と人との『つながり』について改めて考える機会として『こころの絆』をテーマにフォトコンテストを実施しました。たくさんのご応募ありがとうございました。入選作品をご紹介します。

最優秀賞



「笑顔のハイタッチ」

長田 玲子 様

社協吉野支部の活動の一環として、毎年6年生児童と高齢者を対象とした“ふれあい集会”“ふれあい会食”を実施しています。児童が考えたゲームと一緒にしたり、肩をたたいたりしながら楽しいひとときを過ごします。この写真はボランティアによる心のこもったお弁当を食べて児童が帰っていく時の“ふれあい”の様子です。

優秀賞

「やったぞお! とったぞお!! 大きいぞお!!!」

鈴木 正之 様

6月に植えたものつるが10月に大きく成長して芋ほりを行いました。児童の“大きいぞお”の大歓声!!小さな手と大きい芋との戦いでした。



佳作



「平穏な幸せ」
本屋敷恵美子 様



「みのり」
本屋敷 崇 様



「幸せな一時」
今田 義則 様



「衝撃」
氏家 徹 様



「さあ、紅葉弁当を
いただきます!」
横関 保 様

受賞 おめでとうございます

10月23日(火)に開催された香川県社会福祉大会において長年地域福祉推進に努められた下記の方々が香川県社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

- 民生児童委員 大野 義一 様
- 民生児童委員 中川 榮 様
- 民生児童委員 西丸 正明 様
- 民生児童委員 宮地 弘子 様
- 民生児童委員 増田 実雄 様
- ボランティア団体 まんのう野菊の会 様



大野 義一 様

福祉委員の窓

見守り声かけなど身近な地域での活躍が期待されている福祉委員さん!
人は、ひとりでは生きてはいけません。人が人として生きていくためには、社会と切り離されることなく、つながりをもって生活していくことが必要です。しかし、ストレス社会と言われていた昨今、人とかかわるなかでストレスが生じ抱えてしまう現実もあります。こころの病気は、誰でもかかりえる病気です。今回は、「こころの健康」について考えてみましょう。

あなたもゲートキーパーに!

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気付き、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ見守る人のことです。



気づき 声かけ 傾聴

眠れない、食欲がない、口数がすくなくなったなど、いつもと違う様子はありませんか? 家族や仲間の変化に気付いて、「大丈夫?」「力になれることはない?」など声をかけてみませんか? その際は、安易に励ましたり、本人を責めたり、考えを否定せず、本人の気持ちを尊重し耳を傾けましょう。

つなぎ

早めに専門家に相談できるように、具体的な情報提供をしましょう。
○こころの健康相談窓口: 町健康増進課 かりん健康センター (TEL73-0126)

見守り

温かく寄り添いながら、じっくりと見守りましょう。

ゲートキーパーの役割

平成24年度 まんのう町見守り声かけほっと安心事業

本年度の事業は、58集落が助成事業に取り組んでいます。各集落では、情報交換会、福祉についてのお話の会、マップづくりや避難訓練など集落の状況にあった事業を取り入れて活動しています。

本年度の助成集落及び助成事業は、下記のとおりです。



地域福祉シンポジウム (川滝自治会)

【24年度助成集落: 58集落 1,263世帯 4,082人うち新規集落6集落 133世帯458人】



炊き出し講習会 (平野自治会)



情報交換会 (11月30日)

●今後の予定

12月3日(月)～12月21日(金) 変更申請受付
2月1日(金)～2月28日(木) 実績報告受付

地域	集落名
琴南	12集落 城山、盛上、盛下、旭町、中央、新生下、野口上、野口下、焼尾、堀田、川奥中、川奥上(新)
長炭	8集落 上種子、下種子、平山南、平野、片岡東2、大向下1、常包(新)、大谷川(新)
吉野	3集落 木の崎上、野津郷、五毛
神野	3集落 池下、上真野、寺下
四條	10集落 大橋(1班)、大橋(2班)、大橋(3班)、大橋(4班)、生稲中西、生稲新道西、生稲下、生稲中東、生稲新道東、川滝(新)
高篠	6集落 池田、下分、谷山内、田中、中所(新)、西高篠宮東(新)
仲南	16集落 春日上、春日中、春日下、本目、福良見中筋上、照井追上上、追上中、宮田、佐文尾郷上、佐文中央、佐文北山西、佐文北山東、佐文峠、買田郷見、買田高座

(事業別集落数)

	事業内容	実施集落数
1	集落内での見守り・声かけ活動事業(必須事業)	58
2	集落内における地域マップ作成事業	17
3	集落内の安全性を重視した現地点検の巡回事業	14
4	情報交換会事業	43
5	福祉について理解を深めるための研修会の開催事業	21
6	避難訓練、及び安否確認の実施事業	10
7	炊き出し講習会の実施事業	13
8	高齢者世帯及び高齢者単身世帯などの友愛訪問活動事業	14
9	隣接している集落間との合同で実施する(1)～(8)までの事業	0
10	見守り・声かけ・支え合い帯の編成事業	14

地域福祉推進委員会だより 仲南

仲南地域福祉推進委員会では、昨年度より地区福祉委員会での福祉活動を代表者に報告をしていただいております。

今年度9月28日は、宮田、佐文、10月19日は、春日、本目、小池、追上の地区福祉委員会代表に活動報告をしていただきました。誰もが住み慣れた地域でその人らしく安心・安全に暮らせるため、福祉委員の方が学習する機会をもうけています。

今後も地域住民の主体的な福祉活動の推進を図る為、地域の状況に応じた地域福祉活動の実践、見守り・声かけ活動などを行う福祉委員等への研修会を開催していきたいと考えています。



▲宮田地区福祉委員会の活動について報告



▲佐文地区福祉委員会の活動について報告



▲ちょっとひと息! ストレッチ体操



▲体験「福祉についてのお話の会」

ほっと、ふれあい活動

～町社協吉野支部～

社協吉野支部では、1年間を通してさまざまな地域に密着した活動を実施しています。11月30日には、地域の高齢者と満濃南小6年生児童との「ふれあい集会・会食」を開催しました。まず、児童41名がリコーダーの演奏を披露してくれました。リズムカルなサザエさんの主題歌に、高齢者のみなさんも思わず手拍子で参加をしてくれました。その後、児童が工夫を凝らして考えた「福笑い」「にらめっこ」「パターゴルフ」「紅白玉入れ」などのゲームを高齢者と一緒に行いました。高齢者のみなさんも童心に戻って、笑顔でチャレンジしていました。その後、今度は高齢者からの歌のプレゼントで「誰か故郷を想わざる」を熱唱しました。昼食は、ボランティアによる手作りのお弁当を全員でいただきました。最後に、ひとつの大きな輪になって歌った「ふるさと」は、きっと皆さんの心に温かい思い出として残ったことでしょう。



▲手作りのお弁当! おいしいね!!



▲いっしょに福笑い!! 上手にできた!!

データ

- 支部長 多田 覚さん
- 一般会員戸数 573戸 (H24年度)
- 主な事業
ふれあい集会、ボランティア集会、ふれあい弁当、赤ちゃん訪問、一日研修、友愛訪問、防災ボランティア講習

広がれ!!サロン活動

～知恵袋教室で ボランティア奮闘～

町内で、いきいきふれあいサロン、子育てサロン、小地域ふれあいサロン等行っているボランティアさん等、延べ59名が参加。

お菓子づくり、大人の塗り絵、レクリエーション、折紙の実技で技術を学びました。

実技2 大人の塗り絵に参加された方より「知恵袋教室、初めての参加でしたが、なごやかなムードで良かったです。」「久しぶりに童心に帰り一生懸命塗りました。」「今回の教室に参加し、人と人とのふれあいが出来、とても楽しい一日でした。」との感想をいただきました。有意義な教室となり今後の活動に期待がされます。



▲大人の塗り絵



▲折紙



▲レクリエーション



▲お菓子づくり

平成24年度傾聴ボランティア事業

話の聴き方講座

受講者募集

- とき 平成25年2月15日(金) 午前9時～12時
- ところ 満濃農村環境改善センター 2階 農事研修室
- 対象者 福祉活動に関する活動者及び傾聴に関心がある住民の方

【内容】1. 講義・演習

「地域福祉活動でのよい聴き方」

講師 四国学院大学 社会福祉学部 社会福祉学科
教授 島影 俊英 先生

2. 傾聴ボランティアについて

- 参加費 無料
- 定員 30名程度
- 申込み方法 まんのう町社会福祉協議会 TEL 77-2991
2月8日(金)までに氏名・連絡先をお申し込みください。



赤い羽根共同募金

街頭募金

「街頭募金」も、今年で3回目! 10月1日の赤い羽根共同募金運動開始日に実施いたしました。雨上がりの夕刻の短い時間でしたが、皆様の思いやりの心がたくさん集まりました。



空き缶に貯めたので募金します!



共同募金バザー

今年も「かりんまつり」では、ポップコーン・綿菓子・ジュースなどの販売と募金箱の設置、「町民文化祭」では、ポップコーンの販売と募金箱の設置で共同募金バザーの活動を実施いたしました。

「かりんまつり」では、「野菊の会」ボランティアの皆様のご協力をいただき、会場に訪れた多くの方々と笑顔でふれあいながら、心温まる募金活動を行うことができました。



大きな赤い羽根の完成!



募金をして募金箱に大きな赤い羽根を作ります!

募金実績

募金活動にご協力いただき、ありがとうございました!

- 街頭募金 **7,459円**
10月1日(土) マルナカまんのう店(店頭)
マルヨシセンター満濃店(店頭)

- イベント募金 **86,786円**
10月28日(日) 「まんのう町かりんまつり」(国営さぬきまんのう公園)
11月25日(日) 「まんのう町文化祭」(仲南支所駐車場にて)



がんばってます!!

老人クラブ

香川県老人クラブ大会

11月27日
サンポートホール高松

県老連会長表彰



森末 正敏さん 山本 保さん

プラス5人作戦達成クラブ表彰

- 長尾長生会第2 福良見福楽会
- 吉野第2老友会 照井照寿会
- 四条第一長寿会 生間老人クラブ
- 宮田しあわせ会

おめでとうございます!!

式典後におこなわれた文化芸能発表では、満濃詩舞同好会の皆さんが、みごとな詩舞「九郎義経」を披露してくれました。



町老連会長杯ゲートボール大会

11月15日
旧仲南北小学校

さわやかな秋晴れの下、6チームが参加して町老連会長杯ゲートボール大会が開催されました。

- 優勝 買田
- 準優勝 高篠
- 第3位 佐文 四条



私の健康法

「走るよろこび」「走れるしあわせ」

本目さくら会会長 近石 正元 さん

走り始めて5年。レースに出場するたびに、楽しくなります。それは何故か。沿道からは、見知らぬ人から「ガンバッテ」の声援が飛び交い、それが背中を押してくれます。そして力をもらいます。なんと素晴らしいことか。そして完走したときの爽快感、充実感は他に類を見ない喜びであります。

「走れるしあわせ」に感謝し「スタート」と「ゴール」で必ずお念仏(南無阿弥陀仏)を唱えます。心が静まり、落ち着きます。

走り始めて分かったことは「生きることは挑戦すること」です。今の状態に満足せず、「もっと良くなりたい」「ステップアップしたい」「タイムを上げたい」と思うのです。皆さんも、夢や目標を持ちましょう。

私が走る狙いは、唯1つ「心身ともに健康で強い体力」をつくることです。心はすでに2月3日の「丸亀ハーフマラソン」にギャチェンジしています。

体力の許す限り走り続けます。皆さんもいっしょに走りましょう。夢に向かって。



子育てサロン通信

♪ ~お友達がいっぱい~

9月ごろからサロンの仲間がたくさんになりました。登録している親子は100組になり、5か月から3歳半の子どもまでが毎回10組以上参加しています。多いときは親子で40人を超えるときも。

11月には、はじめてサロンでバスを借りて“ちょっとおでかけ”をしました。満濃荘の入所者とデイサービス利用者の方との交流会では体操や玉入れをし、最後には手紙を渡したいへん喜んでいただけました。かりんの丘公園で昼食。普段のサロンの室内で遊ぶ様子と外で遊ぶ様子は違ったもので、青空の下で元気に遊ぶ子どもが印象的でした。



♪ 手作り弁当おいしいね (かりんの丘公園)

♪ ちょっとおでかけ (かりんの丘公園)



♪ イチョウの葉っぱみーつけた (旧神野小学校)



♪ ちょっとおでかけ 満濃荘と交流会 玉入れ



♪ 神野公民館まつりに出演 「わ~お!」



♪ ハロウィンパーティ おばけに変身

冬の感染症対策

こどもは、抵抗力や免疫力が弱く、感染症にかかりやすいものです。十分な予防を心がけたいですね。

基本→手荒い・うがい

◎インフルエンザ対策

→基本+マスク+アルコール消毒

◎感染症胃腸炎(ノロウイルスなど)

→基本+調理器具を衛生的に+食品は加熱

◎もしお子さんが感染症胃腸炎になったら…

おう吐物や下痢の処理する方法

①素手で処理しない

②処理物は、密閉する

二重にしたビニールに入れましょう。

③処理箇所は、よく消毒する

おう吐物がついた床や衣服は、家庭用塩素系漂白剤で消毒しましょう。

④処理後はよく手を洗う



《子育てサロン情報》

対象は0歳~未就学の子どもとその保護者、妊婦等です。ほっと一息できる場所。気軽にちょっとしたのぞいてみませんか?

実施日/場所 毎週水曜日10時~14時/満濃農改センター
実施日/場所 毎週金曜日10時~12時/神野婦人の家

♪ 1月の主な行事 ♪

- 9日(水) あめんぼさんの読み聞かせ
- 11日(金) 初詣(久保神社) ちょっと散歩
- 16日(水) プロッサムさんの読み聞かせ
- 18日(金) みんなでおやつづくり (神野母子愛育会さん・食改さんが協力)
- 23日(水) 指あみでマフラーづくり

※12/29~1/4までお休みします。

きまい よいまい

いきいきふれあいサロン 長炭地区

長炭地区のふれあいサロンは月二回、なごみ館で開催しています。

7月はかりん健康センターへお出かけ。食生活の指導を受けたり、熱中症のお話を聞いたり、自分の健康と向き合うきっかけになりました。

9月17日は長炭地区敬老会、11月11日は長炭地区文化祭で吉本香代子先生の御指導をいただき「童謡メドレー」「鐘の鳴る丘」「ふるさと」を披露しました。



▲体操



▲敬老会参加



▲文化祭参加



▲みのむしづくり



▲傘づくり



▲針山づくり

ようこそサロンへ

吉井しあわせサロン

～話・遊・食のある居場所に～

吉井しあわせサロンは、高齢者の昔なじみの交流がなくなり、寂しい思いをしていたことや各家庭の諸々の事情なども考えて、平成23年5月に山内弘子さんが有志を募り立ち上げました。回を重ねる度に協力者も参加者も増えました。

サロンに参加する人から「集会所の環境も改善してほしい」との声があり、今年10月には玄関前と上がりにはスロープ、トイレに手すりを新たに設置。「サロンの人に安心してきてもらえるように自治会も協力します」と河田義行自治会長さん。

サロンに伺った日は、秋が深まった11月24日。山内春義さんの指導のもと、いろいろなポイントを教えてもらいながら正月用寄せ植えにチャレンジ。最高齢91歳の丸井さんは、「ここは楽しい」と完成した寄せ植えを見せてくれながら感想を言われていました。昼食は、もみじが添えられたおはぎ、かき玉汁、柿。次の打ち合わせをして解散です。

「昔と比べ、高齢者の居場所がないように感じていました。みんなで声かけし合っしてしあわせサロンが、気軽に寄れる居場所になってほしい」と代表の山内さんは話されていました。



山内弘子さん

データ

- 発足年 平成23年
- 会員数 28名
- 会場 吉井集会所
- 開催時間 9:00～13:00
- 会費 200円
- 開催回数 年10回
- 代表者 山内弘子



▲吉井しあわせサロンのみなさん



▲玄関前のスロープ



▲真剣な表情のみなさん



▲朝は受付から



▲おはぎと旬の柿を添えて

こんにちは♪ ボランティアさん

ボランティア団体 勝手連ファーマーズ

～稲作作り体験事業～



まんのう町立満濃南小学校5年生を対象に稲作作りの体験学習を実施しもち米づくりについて学ぶ行事を行っております。

今年度の稲刈りは、10月22日(月)に行いました。

児童たちは田畑での作業をとおして作物の成長する過程を学びました。また、地域のボランティアの方とふれあい、長い時間をかけて自らの手で作物を育てる体験は、成長期の児童にさまざまな発見をもたらしたようです。会長の安藤要様は、児童からの「ありがとう」「おいしかった」「これからもがんばってください」というお礼の言葉をはげみに、今後も活動を続けていきたいと話されていました。

ようこそサロンへ

吉井しあわせサロン

～話・遊・食のある居場所に～

吉井しあわせサロンは、高齢者の昔なじみの交流がなくなり、寂しい思いをしていたことや各家庭の諸々の事情なども考えて、平成23年5月に山内弘子さんが有志を募り立ち上げました。回を重ねる度に協力者も参加者も増えました。

サロンに参加する人から「集会所の環境も改善してほしい」との声があり、今年10月には玄関前と上がりにはスロープ、トイレに手すりを新たに設置。「サロンの人に安心してきてもらえるように自治会も協力します」と河田義行自治会長さん。

サロンに伺った日は、秋が深まった11月24日。山内春義さんの指導のもと、いろいろなポイントを教えてもらいながら正月用寄せ植えにチャレンジ。最高齢91歳の丸井さんは、「ここは楽しい」と完成した寄せ植えを見せてくれながら感想を言われていました。昼食は、もみじが添えられたおはぎ、かき玉汁、柿。次の打ち合わせをして解散です。

「昔と比べ、高齢者の居場所がないように感じていました。みんなで声かけし合っしてしあわせサロンが、気軽に寄れる居場所になってほしい」と代表の山内さんは話されていました。



山内弘子さん

データ

- 発足年 平成23年
- 会員数 28名
- 会場 吉井集会所
- 開催時間 9:00～13:00
- 会費 200円
- 開催回数 年10回
- 代表者 山内弘子



▲吉井しあわせサロンのみなさん



▲玄関前のスロープ



▲真剣な表情のみなさん



▲朝は受付から



▲おはぎと旬の柿を添えて

ボランティア協力校コーナー

気づく・感じる・学ぶ

児童生徒の福祉教育

まんのう町立満濃中学校の生徒が公民館活動の補助としてボランティア活動を行いました。感想をいただきましたのでご紹介致します。

ボランティアの喜び

まんのう町立満濃中学校 3年 篠原莉奈

私が公民館祭りのボランティアに参加して3年目になります。今回は、うどんバザーやお茶、ジュースの販売のお手伝いをさせていただきました。たくさん売るためには、大きな声で呼びかけなければなりません。いつも照れくさくてはじめは声が出ませんが、いつも少しずつ慣れて最後にはしっかりお手伝いできたと思います。

私がボランティアをして一番「よかったなあ」と思うこと、それは、小さな子からお年寄りまで、いろいろな人とふれ合えることです。買いに来てくれた人は、みんな「ありがとう」と言ってくれます。また、一緒に汗を流してお手伝いをしている地域の方々も温かい励ましやお褒めの言葉をくださります。そんな、何気ない一言が私の大きな喜びです。

これからも、地域のため、そして自分自身のためにもいろいろなボランティアに参加したいです。



ボランティア協力校助成事業

この事業は、町内の小学校・中学校の児童・生徒が、ボランティア活動や地域の社会福祉施設の利用者などとの交流活動により、社会福祉やボランティア活動への理解と関心を高めるとともにそれらの活動を通じて家庭や地域社会へのボランティア活動の啓発を図るため、協力校に対し予算の範囲内で助成を行う事業です。

